

## 令和7年度(2025年度)とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	光明第三こども園
担当者名	

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

継続して「色」をテーマにすくわくプログラムの活動を行い、子どもたちの興味関心が高まっている。興味関心をさらに広げ、気づきや発見を深めていきたい。

### 2. 活動スケジュール

乳児…フィンガーペインティングや色水遊びのほかに、日々の生活の中で様々な素材(カラーポリ袋やカラーボール、カラーセロハンなど)に触れられるようにし、色の名前や混ざりに興味を持てるようにする。

幼児…身近な色探しから、友達の発見を共有する中で新たな気づきや相手の考えに触れる機会にする。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

食用色素、小麦粉粘土、カラーセロハン、カラーポリ袋、プールスティック、寒天粉、電子黒板

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

9/3 寒天あそび 8/1 スライムづくり 8/5 色の混ざり 5/26 葉っぱの色水づくり  
8/25 フィンガーペインティング 10/15 色探し

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

###### 乳児

- ① フィンガーペインティング…はじめは「絵の具を手で触るの？」と抵抗を感じている子もいましたが、絵の具の感触や色が混じっていく様子など、面白さに引き込まれていく子ども達。色がつく、混ざっていくなど気づきがあると「あっ」と声を出し、気づきを職員に共有しようとする姿もみられました。手に沢山の絵の具を付け、職員と握手をしたり、友達同士で頬に絵の具を付け合ったりと色との触れ合いを楽しんでいた。
- ② 光の色…年末、すくわくプログラムでさまざまな活動に取り組んできた頃のこと。1歳児の子どもが、幼児用玩具のカラーコップをウッドデッキに並べ始めた。冬の日差しがコップを通り抜けると、地面には鮮やかな赤や青の光が映し出された。その色の変化に気付いた子どもが「あか!」「あお!」と声を上げると、周りの子どもたちも興味を示し、集まってきた。子どもたちは一緒に色の移り変わりを眺めながら、光と色の不思議さを楽しんでいた。

###### 幼児

- ③ 色の混ざり…掌に絵の具を付け、異なる色をつけた友達と握手をすることで色の混ざりを楽しんだ子ども達。「〇〇君と僕で色を作りたい」等の声も聞かれ、お互いのぬくもりを感じながら色の探求を行っていた。子どもたちが作った「色の足し算表」を掲示し、いつでも振り返られるようにした。
- ④ 色探し…穴の開いた画用紙を用意し、近くの公園で色探しを楽しんだ。「この葉っぱと一緒にだよ」「私のほっぺと一緒にじゃない?」と沢山の色を見つけることが出来ていた。中には画用紙の色では表現出来ない色を見つけ、「これじゃない?これも違う。」と黙々と探し続ける姿もあった。クラスごとでの活動を電子黒板で共有することで他チームの発見など新たな発見をしている子もいた。

①



②



③



④



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

昨年と同じ「色」というテーマで取り組んできたことで子どもたちの興味関心の高まりや気づきの深さを感じることが出来た。また、職員も新たな活動として子どもたちの探求心や好奇心にあった物を提供することが出来たと思う。職員の子どもを見る目も養われ、すくわくプログラムの活動でない場面であっても、子どもたちの学びや気づきを感じ取り、発展することが出来ていた。